

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【公開番号】特開2014-198138(P2014-198138A)

【公開日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-058

【出願番号】特願2013-74726(P2013-74726)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 9

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者の操作に応じて遊技球を発射する発射手段と、

該発射手段によって発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、

該遊技領域に設けられて、遊技球の入球可能な開放状態と遊技球の入球困難な閉塞状態とに変化可能な可変入球口と、

該可変入球口を前記開放状態に制御する開放条件が成立するか否かを抽選する開放抽選手段と、

前記可変入球口への遊技球の入球を規制するように前記可変入球口の上方に設けられ、その上面に遊技球を転動させて端部から流下させる通路部材と、を備え、

該通路部材の端部から流下する遊技球が前記開放状態に変化している前記可変入球口に入球し得るように前記通路部材と前記可変入球口とを配置することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は上記の実状に鑑み、遊技興趣の低下を抑止可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために請求項1に係る発明においては、遊技者の操作に応じて遊技球を発射する発射手段と、

該発射手段によって発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、該遊技領域に設けられて、遊技球の入球可能な開放状態と遊技球の入球困難な閉塞状態とに変化可能な可変入球口（本例では大入賞口2103が相当するものであるが、遊技球の入球可能な開放状態と遊技球の入球困難な閉塞状態とに変化可能な入賞口であればこれに限定されるものではない）と、

該可変入球口を前記開放状態に制御する開放条件が成立する（大当たり遊技状態の当落についての抽選処理の結果として大当たりに当選したこと、及び小当たり遊技状態（大当たり遊技状態と同様に大入賞口2103を開閉制御するものであって前後で遊技状態に変化を与えるもの）の当落についての抽選処理の結果として小当たりに当選したこと）か否かを抽選する開放抽選手段と、

前記可変入球口への遊技球の入球を規制するように前記可変入球口の上方に設けられ、その上面に遊技球を転動させて端部から流下させる通路部材と、を備え、

該通路部材の端部から流下する遊技球が前記開放状態に変化している前記可変入球口に入球し得るように前記通路部材と前記可変入球口とを配置することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

このように、本発明によれば、遊技興趣の低下を抑止可能である。